

# 火おこしにチャレンジ

## 準備物

・火おこしセット【500円（1セット/1班）貸出のみ】※教材申込書で注文

火おこし器（火をおこすための道具）

火きり杵（火おこし器の替え芯）

火きり板（火おこし器との摩擦で火種をつくる）

麻ひも10本（火種を大きくするのに使う）

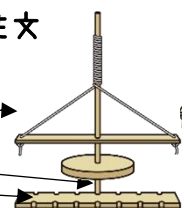
火種用カップ（火種を移して炎をつくるのに使う）

・バケツ（消火用）※野外炊飯棟各棟に2個設置済み

・火ばさみ※野外炊飯棟各棟に8本あり

・軍手（個々又は団体で準備）

・新聞紙（個々又は団体で準備）



## 火おこしの手順

①各班ごとに火おこしに使用する道具を準備する。

②麻ひもをほだき鳥の巣のようにまとめる。これを2セット作る。

1セット火種用カップにセットする。もう1セットは予備。

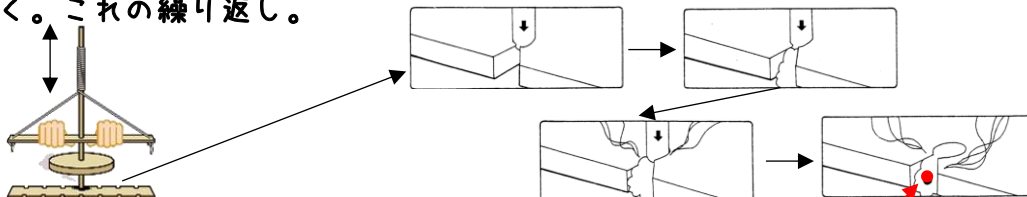


③火おこし器を持つ人、火きり板を抑える人と分担を決め向かい合わせになる。

④敷き板の上に火きり板を置き、一人が固定し、もう一人が火おこし器の先を火きり白（火きり板のくぼみ）にセットする。

⑤火おこし器のロープを芯棒に巻き付け横木を上下させると火おこし器がまわり始め摩擦が起きる。※この時横木は水平になるように!!

⑥ロープが伸びる少し手前で力を抜くと、反動で自然にロープが芯棒に巻き付き横木が上がっていく。これの繰り返し。



※1人では大変です！向かい合って回転を止めないように途中交代しながら行ってください。

⑦摩擦でできた木の粉の色の変化 茶色 黒色 黒色の中に赤色（火種）

⑧煙が出てきたらさらに力を加えて高速回転し続ける。※煙が出ても回転を止めない！

⑨出来た火種を②でセットした火種用カップに置いて8の字に振る。

もしくは火種を麻ひもの鳥の巣で軽く包み火ばさみで挟んで振る。

※火種を直接触らない、火がつくと一瞬で炎になるので気を付ける！

⑩火がつき炎になったら成功！火種を炎にするのが難しいので頑張ってください！

⑪消火用バケツで火を消す。

※野外炊飯で火を利用の場合は、薪をセットしたかまどに移す。

⑫道具の片付け、掃除。

